

1395 横浜市立太尾小学校マーチングバンドが全国大会で金賞(第一位)を受賞

・・・2月25日(水)横山港北区長が学校を訪問し、ドリル演奏を鑑賞しました。・・・

昨年12月13日(土)、さいたまスーパーアリーナで行われた「第42回マーチングバンド全国大会」では、全国の地方大会を好成績で進んできた小学生の部大編成15校と練習の成果を発表し合い、レベルの高い演奏と動きを競い合いました。

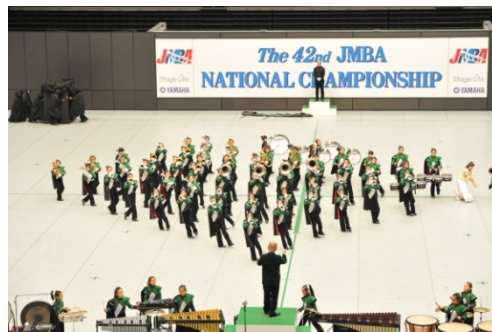
結果、「音楽の観点」と「視覚の観点」から厳正な審査の結果、金賞の5校に選考されてさらに最高得点校(第一位)として、代表で金賞を受賞しました。

今回、横山港北区長と相原副区長が太尾小学校を訪問。

全国大会で金賞を受賞したマーチングバンドのドリル演奏を鑑賞しました。



横山区長の訪問で挨拶をする島津 花菜さん



全国大会で発表

マーチングバンド全国大会を終えて

横浜市立太尾小学校マーチングバンド
部長 嶋津 花菜 (6年)



私たちは、聴いていてくれる方が感動してくれるような演奏演技ができるように頑張ってきました。練習は6年生が中心となり、みんなで支え合いながら練習してきました。

大会当日は、今までできなかった動きも信じ合い、心を一つにしたのでしっかりそろえることができました。うれしかったです。

マーチングは、心を一つにするからこそ表現できるものがあると思います。

このマーチングで学んだ事を大切にしたいです。

全国大会金賞受賞の快挙に

横浜市立太尾小学校
学校運営協議会会長 秋本 健一氏



昨年 8 月に太尾小学校運営協議会主催「第 6 回太尾小ふるさとまつり」入場行進の演奏では、横山港北区長をはじめとしたご来賓の皆様と太尾小学校の児童・教職員、保護者、地域の皆様に素敵な感動を届けました。

その後も 9 月の太尾小運動会、10 月の大倉山地区健民祭、11 月の資源循環局港北事務所主催「ヨコハマ 3 R 夢地域ふれあいフェスタ」等さまざまなイベントで素晴らしい演技を披露しました。そして、12 月には「第 42 回マーチングバンド全国大会」に出場し、4 年連続金賞 1 位という偉業を成し遂げ、学校・家庭・地域の皆様とお祝いすることが出来ました。これは、年間を通しての朝練習や校庭等での練習の成果であり、近隣の地域の皆様の温かい見守りがあったからと思います。これからもマーチングバンドの方々が一層活躍できるようサポートするとともに、太尾小学校の教育活動に対する支援を強化してまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



横山区長・相原副区長の訪問で、マーチングバンドの部員と共に記念写真

太尾小学校マーチングバンドについて

校長 鷺山龍太郎



太尾小学校マーチングバンドは、地域に根差す学校の特色として、1988年に創部して以来、27年にわたり運動会をファンファーレなどで格調高く盛り上げたり、地域のイベントに参加して大倉山地区の文化活動を盛り上げたりする活動を展開し、長年にわたり活動を続けてきました。

今年の体制は、部員3年生から6年生まで74人の大編成。指導者は、現職教員の4人体制。みな授業をフルに担当しつつ、熱い情熱をもってマーチングバンドを指導しています。そこに、マーチングバンド保護者会が、子どもの健康管理から大会出場の支援まで強力にバックアップしています。また、全職員も、大量の楽器の運搬などを支援してこの活動が成り立っています。そして、地域の皆様が頑張っているマーチングバンドの活動を熱い思いで応援してくださるとともに、練習の音にも温かいご理解をいただいていることが活動の基盤となっています。

今年度も、4月に新3年生を加え、新体制となり、練習がスタートしました。上級生や先生に指導されて、学校のあちこちで練習し、美しいメロディーを追求し、音を合わせていく練習、さらに動きを加えていく練習と、長い階段を上っていくかのように、基礎基本から積み上げて、一步一步技量と精神を高めていく子どもたちの姿は素敵です。

早朝、放課後、そして土曜日、夏休み中と、練習を積み上げ、時には外部の講師も招いて専門的な指導を受けます。指導者に指導されたことには、子どもたちは「はい！」と応えて、積極的に自分のものにしていきます。夏の練習は、今年の曲を自分たちのものにして、バンド全体を一つにしていくために岩山を登るかのように自分たちを高めていきます。暑い中の練習に、保護者会のみなさんが、子どもたちの健康管理にを万全の態勢で支援しています。この練習でも脱落してやめる子がいないというのは驚きです。夏休みが終わるころには、子どもたちの日焼けした横顔に、逞しさと心身を鍛えた精悍さが感じられました。でも、昨年度末の状態に比べると完成度は明らかに高くありません。

それを、磨きに磨いていきます。

秋になり、今年は、まず「マーチングバンド・バトントワリング全国大会ジャパンカップ」で優勝旗を持ち帰りました。

次は、神奈川県大会です。「横浜市長賞」をいただきました。

ここから、ますます音と、動きを磨いていきます。関東大会でも優勝し、埼玉県教育長賞をいただきました。そこから、さらに全国大会に向けて、子どもたちはますますパフォーマンスの精度を高めるとともに、保護者会の皆さんの力で演出の大道具や小道具までだんだんと大がかりになっていきます。地域の皆様も熱い応援の気持ちを送ってくださいませ。今年の曲目は「オペラ座の怪人」。マスクをつけた怪人とヒロインたちが踊り、巨大な

地下空間を演出する不織布の大道具まで登場しました。全国大会に出場し、厳正な審査の結果、金賞で、得点第一位とされました。

その成果を学校、地域に報告し、港北区長の表敬訪問とさらに横浜市長への表敬訪問の機会もいただくという栄誉を受けることができました。

また、地域での貢献活動も積極的に展開します。今年は、「太尾ふるさとまつり」での演奏、環境事業局の「ふれあいフェスタ」での演奏、港北高校で地域の皆様を招いて行う「ハッピードリームコンサート」でも演奏を披露しています。さらに、ヨコハマロビンズの定期演奏会にも招待されて演奏します。

さらに、今年は、自衛隊音楽祭にも、小学校唯一の招待校として、自衛隊の音楽隊や在日米軍の軍楽隊という本職の音楽隊とともに演奏するという栄誉をいただいています。

1月になると、新部員募集の活動が始まります。現部員が、楽器を希望者に扱わせる体験教室を行い、新入部員を募集します。現部員は、新しい仲間を獲得しようと一生懸命に楽器の扱いや活動の楽しさを伝えます。こうして、3月まで2年生だった団員が、3年生になって、マーチングバンドの楽器を携えてデビューしていきます。

新部員体制を4月に作ってから、全国大会の高みを目指し、地域に貢献するバンドとして子どもたちは高い山に登るかのような修練を積み上げています。マーチン部バンド部員は、自分を高めていく向上心、仲間との団結心、規律、礼儀などもしっかり身に付けて成長していく、太尾の子のリーダーでもあります。



校長室で鷺山校長から挨拶を受ける

横山区長



演奏終了後、マーチングバンド部員を激励する横山区長